

(ご参考②) 平成17年度経営方針

中期経営計画初年度における確固たる収益水準の確保

■重点分野への積極的な経営資源投入を通じた収益拡大

	<17/3期実績>	<18/3期予想>
SMFG連結当期純利益	▲2,342億円	4,600億円
銀行単体当期純利益	▲1,368億円	3,500億円

■クレジットコストの巡航速度化

【三井住友銀行単体】 与信関係費用	<17/3期実績> ▲9,548億円	<18/3期予想> ▲3,000億円
金融再生法開示債権残高	1兆8,246億円	1兆円強
不良債権比率	3.3%	2%強

を目指す

中期経営計画（平成17年度～20年度）における経営戦略の考え方

「お客様」・「市場」・「社会」から「最高の信頼」を得るトップバンクの実現

－ 時価総額10兆円以上を展望 －

経営資源の戦略的投入

重点戦略分野への
経営資源の
積極的な投入既存業務の
効率化

■ 事業成長戦略

新たなリスク、
新たな地域、
新たな事業領域
への挑戦戦略的アライアンス
への
積極的な取組み

資本効率の向上

各ビジネスの
リスク・リターン
適正化リスク資本・
リスクアセットの
再配置

■ 重点戦略分野（マーケティング部門）

コンシューマー・
ファイナンス

プロミスとの提携

コンシューマーローン

NTTドコモとの提携

携帯電話を利用した
新クレジット決済サービス個人向け
コンサルティング

「マス富裕層」取組み強化

個人資産運用

商品ラインアップの拡充

証券仲介業務
遺言信託業務法人向け
コンサルティング

ソリューション提供力の強化

投資銀行ビジネス

リスクテイク能力の強化

中堅・中小企業向け
リスクテイク貸出

海外ビジネス

アジア市場の強化

中国を中心とした
アジア・ビジネス欧米における資本効率
を重視したビジネス拡大企業価値向上、企業の社会的責任の遂行等のための
コーポレート・ガバナンスの高度化

公的資金の早期返済

<21/3期目標>

連結ROE 15%以上

連結当期純利益 6,500億円以上

連結BIS自己資本比率 11%程度
連結Tier I 比率 7%程度